

教育行政官に向けた研修（通称：スーパーバイザー研修）

2017年1月中旬からミャンマー全土で実施した新初等教育カリキュラム導入研修（以下で詳述）に先駆け、全国の教育事務所（州・管区教育事務所、郡教育事務所、タウンシップ教育事務所）より約420名をヤンゴンに召集し、2日間のスーパーバイザー研修を行いました。

この研修では、彼らが新初等教育カリキュラムの重要な点を理解するとともに、今後行われる導入研修に向けた必要な準備を行うこと、新しいカリキュラムが開始された後に積極的に学校を支援し、新しいカリキュラムの効果的な実践を促すことを目的に行われました。

ミャンマーで全国レベルの導入研修が行われるのはこれが初めてのこととなるため、彼らの準備やマネジメントは非常に重要な役割を果たします。教科書の承認が予定より遅れたため研修準備に充てられる期間が非常に短くなってしまいましたが、彼らは細部まで細かく確認を行っていました。

現職教員への新初等教育カリキュラム導入研修

2016年12月末に本プロジェクトが開発支援してきた小学校1年生の教科書がミャンマーの教科書承認機関にて承認されました。これを受けて、2017年1月より5月にかけて現職教員に向けた新初等教育カリキュラムの導入研修を実施しました。本研修は、各州・管区のトレーナーを養成する中央研修、各郡のトレーナーを養成する第2研修、各学校群のトレーナーを養成する第3研修、各学校からの代表教員を研修する第4研修の4階層で行われ、ミャンマー全国から約10万人の小学校代表教員が各地で参加しました。

研修プログラムは、新しいカリキュラムの狙い、新しい教科書の構成、授業の実施方法（教師用指導書の活用）、各教科の新しいポイント等の講義に加え、全教科のサンプル授業ビデオを上映し、新しい授業のスタイルを視覚的に学べる内容としました。また、各教科で実際に小学校1年生の児童が実施する活動を研修参加者が体験したり、参加者同士が教師・児童役になって授業実践を練習したり、実際に今年の6月から小学校に就学する子どもたちに参加してもらい研修参加者が教師となって授業を行ったりと、実践的な内容を多く含むものとなりました。こうした内容の研修が各階層で14日間ずつ実施されました。

研修参加者からは「こんなに面白い授業になるのなら自分も小学校に戻りたい」「このような授業ができれば子どもたちがもっと興味を持って勉強するだろう」等と非常に好意的な意見が出されました。日中40度近くまで気温の上がることもある、夏季休暇中の研修でしたが、参加者は非常に熱心に研修に参加し、新しいカリキュラムや教科書に対して非常にポジティブな姿勢を示していました。



算数の活動を体験する参加者



図工の粘土工作を体験する参加者

教員養成校教官・学生への新初等教育カリキュラム導入研修

上記の現職教員に向けた導入研修の後、6月より全国に25校ある教員養成校の教官・学生を対象とした新初等教育カリキュラム導入研修を開始しました。これは、教員養成校の学生たちが学校現場に出る前に新しい初等教育カリキュラムを理解しておくための研修です。まず、教官を対象に実施した中央研修では各養成校より各教科の代表教官が1名ずつ、教育心理、教育哲学の代表教官が1名ずつ、合わせて約300名が参加しました。

研修内容は現職教員対象の研修で実施したものに加え、各教科のより詳しい内容を取り上げ、児童の活動体験、各教科での児童の評価方法の演習等を取り入れたものにしました。

本研修の後、参加した教官たちが各養成校で他の教官に向けた校内研修を実施し、その後、養成校の学生（約11,500人）に向けた研修を実施しているところです。



理科の活動体験をする参加者



音楽の活動体験をする参加者

これらの研修は、プロジェクトがプログラムの検討、教材開発、講師支援を実施し、ミャン

マ教育省が研修監督、運営、予算拠出をして実施されました。こうした研修は今後も行っていきますので、よりよい研修となるよう、教育省と研修のリフレクション、参加者のアンケート結果の分析等を実施しているところです。

文責：教員養成研修計画／教材作成担当 川島加奈恵